

GFVC協議会アフリカ部会 ご報告資料

# 令和2年度 COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの 影響分析調査業務（アフリカ地域）

---

株式会社野村総合研究所

コンサルティング事業本部 ICTメディア・サービスコンサルティング部

2021年2月17日



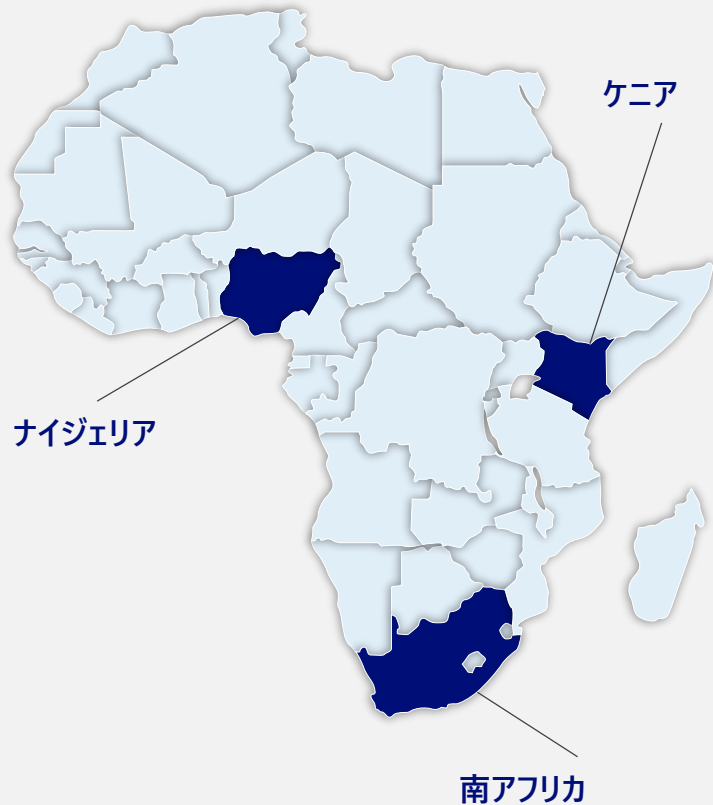
1. 背景と目的、実施事項および実施体制
2. COVID-19の影響まとめ
3. TV会議結果と企業ニーズ
4. 今後のアクションイメージ
5. お問い合わせ先

## 1. 背景と目的、実施事項および実施体制

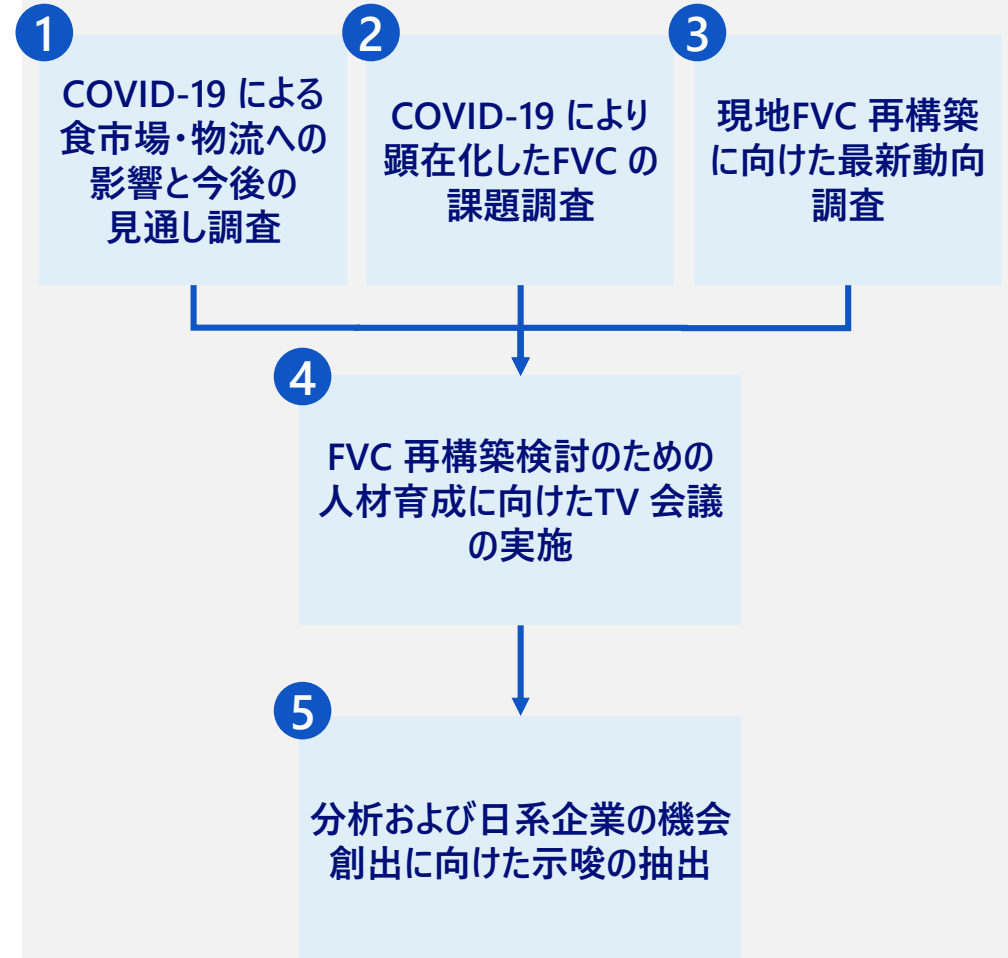
- 2. COVID-19の影響まとめ
- 3. TV会議結果と企業ニーズ
- 4. 今後のアクションイメージ
- 5. お問い合わせ先

本事業の背景と目的：日系企業の事業機会創出検討のためのCOVID-19を受けた課題・変化の把握

対象国



タスク



## 日印混合のチーム組成により本活動を推進

### 農林水産省検討チーム

**MAFF**  
農林水産省

大臣官房国際部  
新興地域グループ

### NRIの支援体制



#### プロジェクト・マネージャー

JPN

**佐野 啓介**

- グローバルインフラコンサルティング部  
上級コンサルタント、プリンシパル
- ・プロジェクトの成果・質に対し責任を負い、プロジェクトの進捗管理を行う
  - ・プロジェクト進行に係る重要な意思決定

#### プロジェクト・リーダー

JPN

**中村 龍樹**

- ICTメディア・サービスコンサルティング部  
主任コンサルタント
- ・プロジェクトマネージャーの指揮下、プロジェクトを遂行
  - ・日本側連絡窓口

#### アドバイザー

JPN

**小池 純司**

- グローバルインフラコンサルティング部  
上級コンサルタント
- ・対象国において有するネットワークや知見に関してアドバイスを行う

#### インド担当

#### プロジェクト・メンバー

IND

**羅 俊明**

シニア・マネージャー  
Cross Functional Consulting Group

#### プロジェクト・メンバー

IND

**上木原 広平**

シニアコンサルタント  
Investment Strategy Consulting Group

#### プロジェクト・メンバー

IND

**Himanshu TRIVEDI**

デピュティシニアコンサルタント  
Investment Strategy Consulting Group

1. 背景と目的、実施事項および実施体制

2. COVID-19の影響まとめ

3. TV会議結果と企業ニーズ

4. 今後のアクションイメージ

5. お問い合わせ先



COVID-19により引き起こされている主な課題  
各国でFVC毎に課題を整理

## 農業資材



輸入依存が大きく、  
輸入難による資材不足発生

## 加工



原材料調達の遅延、  
製品需要変動への対応

## 農業生産



生産は3か国とも好調。ただし  
需要減・売掛回収遅延等の打撃

## 卸・小売



屋内外のリアル店舗への  
来客数減少

## 保管・運送



陸海空輸送のコスト増大・遅延。  
FVC全体に影響

## 消費



食料価格高騰

1. 背景と目的、実施事項および実施体制
2. COVID-19の影響まとめ
3. TV会議結果と企業ニーズ
4. 今後のアクションイメージ
5. お問い合わせ先



## TV会議での議論から見る現地国のニーズ

3か国のパネルディスカッションを通じて、9つのテーマを抽出。ケニア・ナイジェリアでは農家の生産性や加工・保存技術、南アではデジタル領域でニーズ。また共通して健康意識に高まりがみられた

TV会議で出たニーズのテーマ

		資材	保管・ 運送	生産・ 加工	卸・ 小売	KN	SA	NG	コメント例
1	農家の生産性改善	■		■		○		○	特に小規模農家は保管システムや先進的な生産技術を有しておらず、生産効率が低い
2	農業資材・農作物の現地生産化	■		■		○	○		外的ショックへのレジリエンスを高めるため、国内でのサプライチェーンの強化および生産の現地化が求められる
3	(小規模)農家の市場アクセス改善			■		○			大規模市場や伝統市場へのアクセス制限により小規模農家は農産物販売で苦しむことに
4	農家の金融支援			■				○	生産効率をあげるため先進的なソリューションの導入が求められるが、ほとんどの農家には投資資金がない
5	低コストの灌漑施設の導入			■		○			低コストの灌漑施設が存在せず、小規模農家は利用できていない
6	安心・安全な食品の開発			■		○	○	○	COVID-19の影響で健康意識が高まり、健康食品の需要が増加した
7	食品加工・保存・輸送高度化(フードロス削減)		■			○		○	施肥状況や保存状態の問題により発生する病害、保管・加工・輸送環境の問題でフードロスが発生している
8	オンライン配送需要への対応				■		○		食料品店での購買を避け、オンライン配送への需要が高まっている
9	スマートキッチンなど新たな内食需要対応				■		○		1年を通じた在宅時間増加に伴い、巣ごもり需要やレストランのような料理の自宅調理への需要が拡大した

## TV会議での議論から見る現地国のニーズ

3か国のパネルディスカッションを通じて、9つのテーマを抽出。ケニア・ナイジェリアでは農家の生産性や加工・保存技術、南アではデジタル領域でニーズ。また共通して健康意識に高まりがみられた

TV会議で出たニーズのテーマ

資材 保管・運送 生産・加工 卸・小売 KN SA NG コメント例

- 1 農家の生産性改善
- 2 農業資材・農作物の現地生産化
- 3 (小規模)農家の市場アクセス改善
- 4 農家の金融支援
- 5 低コストの灌漑施設の導入
- 6 安心・安全な食品の開発
- 7 食品加工・保存・輸送高度化(フードロス削減)
- 8 オンライン配送需要への対応
- 9 スマートキッチンなど新たな内食需要対応

### 農業への先端技術導入の期待



ドローンにより施肥している様子

農家の生産性が低く、ドローンなどの新たなソリューションの導入が必要。実際に国内でもスタートアップは出てきている。ただし、農家にはこうした新しい技術に投資する資金がない課題もある

特に小規模農家は保管システムや先進的な生産技術を

高まっている

1年を通した在宅時間増加に伴い、巣ごもり需要やレストランのような料理の自宅調理への需要が拡大した

## TV会議での議論から見る現地国のニーズ

3か国のパネルディスカッションを通じて、9つのテーマを抽出。ケニア・ナイジェリアでは農家の生産性や加工・保存技術、南アではデジタル領域でニーズ。また共通して健康意識に高まりがみられた

TV会議で出たニーズのテーマ

資材 保管・運送 生産・加工 卸・小売 KN SA NG コメント例

- 1 農家の生産性改善
- 2 農業資材・農作物の現地生産化
- 3 (小規模)農家の市場アクセス改善
- 4 農家の金融支援
- 5 低コストの灌漑施設の導入
- 6 安心・安全な食品の開発
- 7 食品加工・保管・輸送高度化(フードロス削減)
- 8 オンライン配送需要への対応
- 9 スマートキッチンなど新たな内食需要対応

### 輸出の蒸発を受けた国内開拓需要の高まり



輸出先を失い廃棄されるバラの山



ケニアは花卉や野菜（アボカド等）の欧州への輸出が盛ん。COVID-19の影響で輸出できなくなり、大きな損失を被った。と同時に、新たに国内市場を開拓する動きも見られた。

特に小規模農家は保管システムや先進的な生産技術を

高まっている

1年を通じた在宅時間増加に伴い、巣ごもり需要やレストランのような料理の自宅調理への需要が拡大した

## TV会議での議論から見る現地国のニーズ

3か国のパネルディスカッションを通じて、9つのテーマを抽出。ケニア・ナイジェリアでは農家の生産性や加工・保存技術、南アではデジタル領域でニーズ。また共通して健康意識に高まりがみられた

TV会議で出たニーズのテーマ

資材 保管・運送 生産・加工 卸・小売 KN SA NG コメント例

- 1 農家の生産性改善
- 2 農業資材・農作物の現地生産化
- 3 (小規模)農家の市場アクセス改善
- 4 農家の金融支援
- 5 低コストの灌漑施設の導入
- 6 安心・安全な食品の開発
- 7 食品加工・保存・輸送高度化(フードロス削減)
- 8 オンライン配送需要への対応
- 9 スマートキッチンなど新たな内食需要対応

特に小規模農家は保管システムや先進的な生産技術を

### 自宅での健康食調理への関心の高まり



自宅に直接配送される食材やミールキット

レストランの営業停止や感染への不安を受け、食料品のオンライン配送需要が高まった。また健康意識も高まり、自宅で美味しく健康な食事をとることに関心が集まっている

高まっている

1年を通じた在宅時間増加に伴い、巣ごもり需要やレストランのような料理の自宅調理への需要が拡大した



アンケート結果からみた日系企業のニーズ

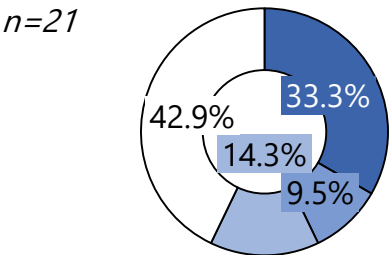
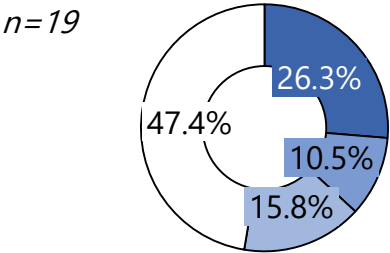
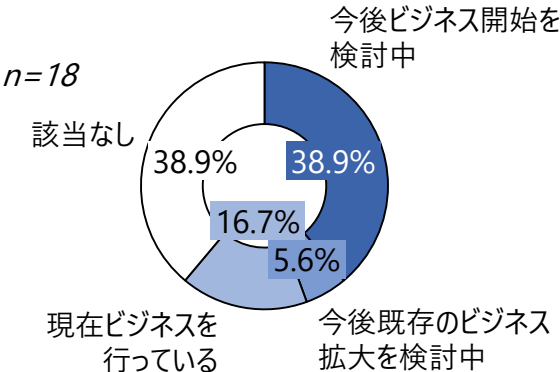
TV会議後のアンケートでは、現地企業とのパートナーシップ形成を望む声が最も多かった。  
分野では食品加工に注目が集まるほか、ナイジェリアでは農業生産にもニーズ

ケニア

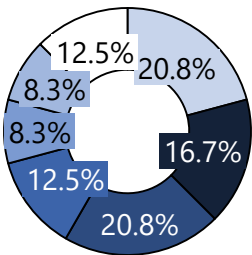
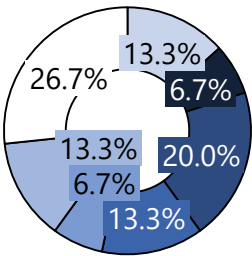
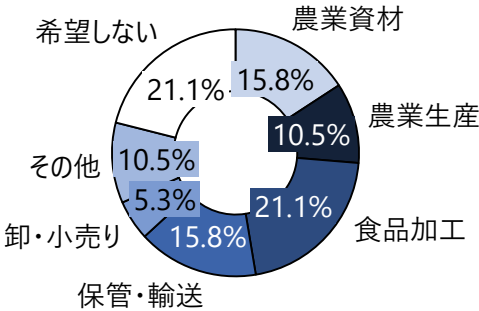
南ア

ナイジェリア

現地でのビジネス状況



企業紹介を希望する分野(複数回答)



関心の高いテーマ (複数回答、トップ5)

テーマ	票数
現地企業とのパートナーシップの形成・役割分担	7
現地拠点の立ち上げ	4
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	4
顧客情報、営業情報管理の実施・強化	4
ローカルスタッフ、ローカルリーダー育成	4

テーマ	票数
現地企業とのパートナーシップの形成・役割分担	5
顧客情報、営業情報管理の実施・強化	4
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	3
AI/IoTの活用	3
現地拠点の立ち上げ	2

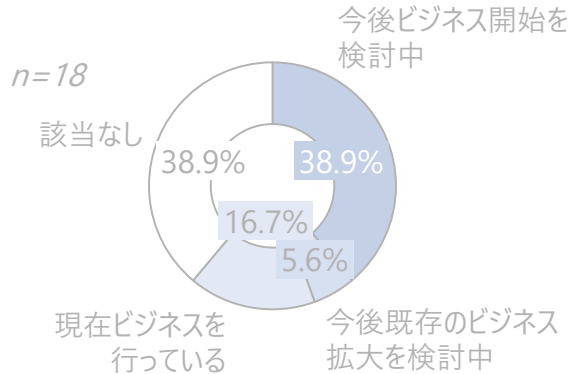
テーマ	票数
現地企業とのパートナーシップの形成・役割分担	8
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	6
顧客情報、営業情報管理の実施・強化	5
IoT・AIの活用	4
現地拠点の立ち上げ	3

## アンケート結果からみた日系企業のニーズ

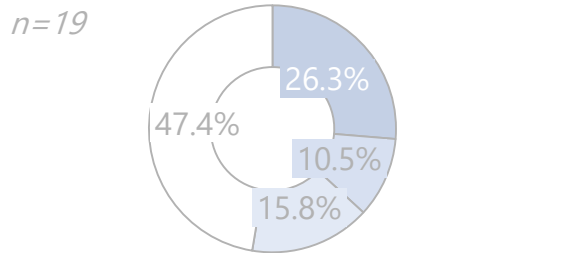
一例として、ナイジェリアでは農家支援企業やアグリビジネス企業へのコンタクトもあり

### 現地でのビジネス状況

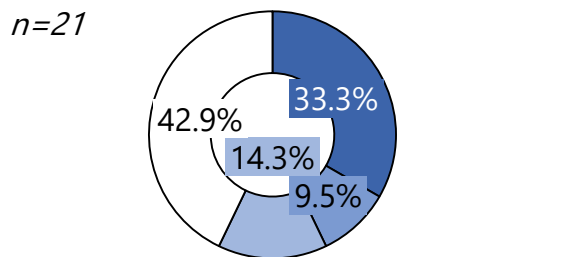
ケニア



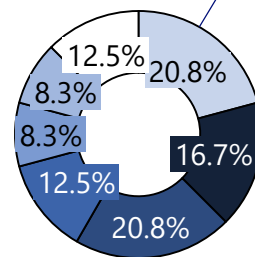
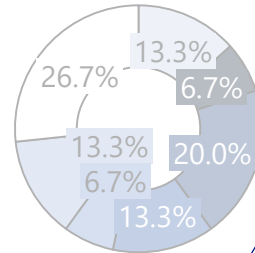
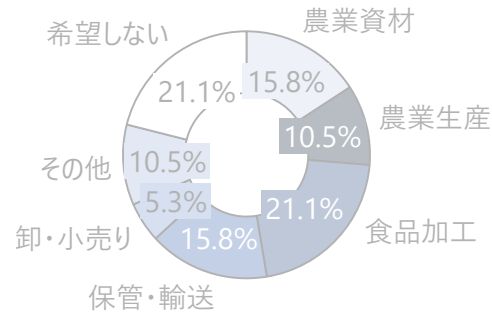
南ア



ナイジェリア



### 企業紹介を希望する分野(複数回答)



### 関心の高いテーマ (複数回答、トップ5)

テーマ	票数
現地企業とのパートナーシップの形成・役割分担	7
現地拠点の立ち上げ	4
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	4
顧客集約、営業集約管理の実施	4



AI/IoTの活用 3



現地拠点の立ち上げ 3

1. 背景と目的、実施事項および実施体制
2. COVID-19の影響まとめ
3. TV会議結果と企業ニーズ
- 4. 今後のアクションイメージ**
5. お問い合わせ先



現地国のニーズ（TV会議より）に対して日系企業が貢献できそうな領域

TV会議で抽出されたテーマのうち、日系企業の強みが活きると考えられる農家の生産改善支援や食品加工、物流領域で日・アフリカの連携強化を推進するための各種調査を今後進めることが考えられる

TV会議で出たニーズのテーマ

日系企業が貢献できそうな領域例

		資材	保管・ 運送	生産・ 加工	卸・ 小売	KN	SA	NG
1	農家の生産性改善					○		○
2	農業資材・農作物の現地 生産化					○	○	
3	(小規模)農家の市場アクセス 改善					○		
4	農家の金融支援							○
5	低コストの灌漑施設の導入					○		
6	安心・安全な食品の開発					○	○	○
7	食品加工・保存・輸送高度化 (フードロス削減)					○		○
8	オンライン配送需要への対応						○	
9	スマートキッチンなど新たな 内食需要対応						○	

1



農作業の  
自動化

1



ドローン・AIによる  
生産改善

3



道の駅による  
直販モデル

6



食品加工における  
品質・衛生管理

7



コールドチェーン  
輸送・保存

9



IoT家電＋  
ミールキット

1. 背景と目的、実施事項および実施体制
2. COVID-19の影響まとめ
3. TV会議結果と企業ニーズ
4. 今後のアクションイメージ
5. お問い合わせ先

### ■プロジェクトに関してのお問い合わせ先

- NRIプロジェクトメンバーメーリングリスト [maff-africa@nri.co.jp](mailto:maff-africa@nri.co.jp)

### ■その他食品・農業関連ビジネスに関するお問い合わせ

- 佐野 啓介 (NRI東京) [k3-sano@nri.co.jp](mailto:k3-sano@nri.co.jp)
- 羅 俊明 (NRIインド) [junmyong.ra@nri.com](mailto:junmyong.ra@nri.com)
- 上木原 広平 (NRIインド) [Kohei.Kamikihara@nri.com](mailto:Kohei.Kamikihara@nri.com)